

地球観測将来構想小委員会第1回会合 議事要旨

日時：2019年8月19日 10:00-12:00

場所：東京大学理学部1号館 105号教室

出席者：中村尚、藤井良一、高薮緑、中島映至、福田洋一（Zoom参加）、村山泰啓、今村剛、岩崎晃、江淵直人、岡本幸三、岡本創、沖理子、小池真、重尚一、高橋暢宏、中島孝、中島英彰、樋口篤志、本多嘉明、松本淳、横田達也（敬称略 名簿順） 以上21名

議題：

1. 役員の選出
2. 小委員会設置の背景と目的
3. 目標成果物について
 - (ア)目次案
 - (イ)提言のフォローアップ
 - (ウ)将来構想
4. 今年度の活動内容・役割分担について
5. 議事要旨について
6. 次回の会合日程
7. その他

議事：

0. 自己紹介を行った。
議事要旨の提出について、委員長に一任の旨、合意を得た。
1. 役員の選出を行った。
委員長：高薮
副委員長：江淵、早坂
幹事：岩崎、高橋
主筆：本多、中島映
2. 小委員会設置の背景と目的についての議論

小委員会設置背景：

地球温暖化等の全球規模の気候・環境問題や我が国の自然災害が深刻さを増す今日、短時間に全球的・地域的観測が可能な地球観測衛星システムの重要性が一層高まっている。その大規模なミッションと予算のためには、学界の英知を結集して国内及び世界的視点から有効で持続可能な将来計画の構想が求められる。従来、計画策定は宇宙機関と政府、学協会にて議論されてきたが、衛星の高度化と社会的要求が増大する今日、より広い視野に立った地球観測のあり方の検討と将来構想の立案が必要になっている。

目的：

- ① 平成 29 年度提言「我が国の地球衛星観測のあり方について」のフォローアップ
- ② 我が国と世界の地球観測衛星プログラムと創出される科学的貢献と社会貢献の精査
- ③ 有効で持続可能な将来構想の提示

3. 目標成果物についての議論

○今期内の提言の提出を目標とする

○今年度は以下のスケジュールで活動する：

第 1 回会合 8 月 19 日

第 2 回会合 10 月 7 日

第 3 回会合 12 月 提言骨子をまとめて地球惑星圏分科会に提出

(第 3 回会合に関係省庁からの参加を呼びかける)

第 4 回会合 3 月後半 シンポジウム・提言原案提出

○スケジュールは、以下の議論を元に決定した：

✓12 月地球惑星圏分科会までに提言骨子をまとめておく必要がある。

✓今の期は来年の 9 月までであり、そこから逆算してスケジュールを決める。

✓省庁関係者とも議論する機会を設けることは重要。

✓学術会議の公開シンポジウム等を開催しコミュテニィの意見を反映することも重要。

4. 将来構想についてのアイテム

・政策的現状

・TF の成果物の検討

・ロードマップ

科学的、社会的、国際的必要性に基づき、ミッションのみならず、政策への提言を含む

5. 提言書執筆について

提言（本文 20 ページ、参考資料 10 ページ、要旨 2 ページ）

目次案を仮決めし、執筆分担を決定した。

第 2 回会合で、3 の「地球衛星観測状況の変化と対応の必要性」について、各チームからまず、パワーポイントでの発表を行い、議論することとした。

6. 次回（第 2 回会合）10 月 7 日（月）12:00-14:30 @東大（予定）

議事：第 3 章の①～⑤についてプレゼン（1 項目につき、12 分程度発表）